



東京日々新聞

九百八十一號



大區へ持参
たる由
るれば

慥々不何々の証據も成る處が
あふと見える笑へる出へど
アハハハハハハハ

高橋南町の小泉と云ふ茶屋の亭主
栄蔵は四月七日の夕ぐさ餘りから返つて
見ると妻のおくけがぬしきの一件など見えず
制服制帽で大きな長い棒と持て長野政吉
と云ふ巡査に押へ付けられて居る様子小舟さ
オヤ手前何の悪い事と云ふとついでと立寄れば
巡査の驚ろき杖と引提て遁んとするをイヤ
此奴の好い事として居た太い奴めと打て掛せば
女房のさ出す野郎の飛び出すタバタとさくさ
大騒ぎと成りたる折ららふ巡査原重と見認め
て巡査トおさけと拘引く其とき亭主栄蔵は
手早く妻おたけが寢床の邊より取り散らして
白紙と拾ひ取り



野良足屋

渡辺彫米

萬籟

